



# 愛知長久手ロータリークラブ 2020-21 WEEKLY



ロータリーは機会の扉を開く

例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」  
会長 富田盛義 幹事 神谷恵理 会報 中川清子  
Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446  
FAX:0561-64-5459

Rotary ロータリーは機会の扉を開く

## ロータリーは機会の扉を開く

Rotary ロータリーは機会の扉を開く

本日 第 814 回 2021 年 3 月 14 日(日曜日)789 号

# 国際ロータリー第 2760 地区 2020-21 年度 地区大会

愛知県国際展示場  
常滑市セントレア 5-10-1

前回 第 813 回例会 2021 年 3 月 9 日(火曜日)記録

員総数 16名 出席者 12名 出席率 70.58%



瀬戸北ロータリークラブ 会長 加藤庄平

皆さん今日は、ロータリークラブが戻って来た感じです。お久しぶりの方々ばかりで大変嬉しいです。長久手の皆さん、恒例の愛知長久手RCとの合同例会ができて大変良かったです。一番警戒すべきですということで変異ウイルス第4波に備えて今が我慢のしどころだと思います。これから起こるであろういろんなことも長い戦いになると思いますけど常に前に進んで行きたいと思います。今日は短縮例会ということで飲食も避けましてこのような12時50分から40分間の例会になりましたがこれも警戒すべき状態の我慢のしどころだということ踏まえていただいてあと少し我慢していただきたいと思います。

今日は交換留学生、米山奨学生参加の最後の例会となりますので今後のロータリーとの繋がりを含め卓話を宜しくお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。



愛知長久手ロータリークラブ 会長 富田盛義

皆さん、こんにちは。  
瀬戸北ロータリーさんとの、合同例会楽しみしておりました。  
合同例会関係会員の皆様会場設営ありがとうございました。

又、会長さんはじめ会員の皆様には事前の準備をして頂きまして感謝しております。ありがとうございます。

この会場に伺った時、活気があるなーと感じました。愛知長久手もこのくらいメンバーが揃っていれば今以上に、ロータリー活動が楽しく、充実してくるなーと感じます。瀬戸北の皆さん、新規会員は、ぜひ自クラブではなく愛知長久手ロータリークラブに

送り込んでください。よろしくお願ひします。本日は、ありがとうございます。次年度も一緒に行えるようにお願ひします。

## ■ニコボックス委員会■

- ・本日もよろしくお願ひします。 富田盛義
- ・瀬戸北 RC の方々本日はお世話になります。パンロンジイエさん、山田空さん本日の卓話楽しみに 神谷恵理  
しております。
- ・本日はご苦勞様です。 丹羽司一
- ・本日はよろしくお願ひします。瀬戸北 RC メンバーに会えてうれしいです。 伊藤広治
- ・よろしくお願ひします。 日野典子
- ・本日もよろしくお願ひ致します。 大島昭夫
- ・一年ぶりの合同例会楽しみにしており、ありがとうございます。孫の山田空の青少年交換留学に 山田文明  
際しましても大変お世話になりありがとうございます。
- ・本日は瀬戸北 RC 様との合同例会にお邪魔しております。立派になった山田空君のお話と瀬戸北 RC 中川清子  
米山奨学生の龐君のお話を楽しみにしております。
- ・本日も宜しく御願ひ致します。 青山和成
- ・本日もよろしくお願ひします。 田中信子
- ・本日もどうぞよろしくお願ひします。 伊藤 真
- ・合同例会楽しみにしています。本日もよろしくお願ひします。 大橋良宣

## <幹事報告>

- ① 次週例会は地区大会になります。ご出席者の方はよろしくお願ひいたします。  
3/16(火)は同週祝日振替休会となります。  
次回例会は 3/23(火) PETS 報告になります。出欠は 3/18(木) までに伝助・事務局までご連絡をお願ひ  
いたします。
- ② 4/6(火)夜間花見例会のご案内を送らせていただきましたので、返信期日 3/23(火)までにご返信よろしくお願ひ  
いたします。

## <卓話>

2019-20 年度米山奨学生 龐 龍傑 君

皆さんこんにちは。パンロンジイエと申します。今日はどうぞ宜しくお願ひ致します。本日、皆さんに日本に  
来て今までの経験に基づいて日本の面白いところを中国と比較しながらご紹介したいと思ひます。

### ◎ごみ箱について

まずごみ箱ですね。日本はとても綺麗な国ですが、ごみ箱を置いていないことにびっくりしました。そのた  
めに日本の方はゴミを持ち帰る習慣を身につけています。ここに来る前にも日本人のゴミ拾いの美談を聴くこ  
とができました。それはゴミを持ち帰る習慣にあるでしょう。

しかし、ごみ箱が無いことは初めて日本に来た時の僕にとってとても不便に感じました。何故なら中国には  
ごみ箱が沢山あったからです。ゴミを捨てる時にちょっと歩いたらごみ箱が現れます。日本と中国はごみ箱に  
対する意識が違います。例えば中国のインターネットで「ごみ箱」というキーワードで検索したら写真のよう  
なものが出て来ます。これもどれも外に置かれるものです。日本のヤフーで「ごみ箱」というキーワードで検  
索してみたらこれが出て来ました。全て家庭用のものです。これは日本では外にあまりごみ箱を置かないから  
だと思ひます。これで日本と中国はごみ箱に対する意識が違うということが判ります。日本にごみ箱が無いこ  
とは日本の皆さんにとっても時々困ることは無いでしょうか？

この写真はネットからとってきたものですが、私の自転車のカゴにこのようにゴミを入れられたことがあり  
ます。その時に、なるほど他人の自転車のカゴはごみ箱に使えるのだと私は思っていました。これからごみ箱  
で悩むことは無いなあと思ひました。これはジョーク、冗談です。

やはり日本のような綺麗な国にも勝手にゴミを捨てる人がいないとは一概に言えないと認識を改めました。

### ◎子供の冬の服装について

もう1つ日本に来て驚いたことは日本の子どもの冬の服装です。個人的な印象ですが、服装は薄着過ぎで中  
国はその正反対で厚着です。例えば次の写真をご覧ください。見慣れていることではしょうが、日本に来た時の僕  
にとっては皆可哀そうにしか見えなかったのです。冬に半ズボン、とってもありえないと思ひました。そ  
の時は日本のお母さんは皆継母みたいな感じだと思ひました。中国に生まれて良かったと思ひました。何故な  
らお母さんはズボンをちゃんとはかせてくれるからです。中国の昔話にありますように冬に温かい服を着せない  
日本のお母さんは継母のようにみえます。一方、中国の子どもはどんな服装をしているのでしょうか？日本  
と真逆です。おしゃれとは言えないですが、温かくて良いということです。寒さに対する日中の意識が違うと

ということがわかります。中国では漢方の影響で身体を温めることが好きです。日本の皆さんは身体を冷やすことで免疫力が高まると考えていらっしゃるようです。

#### ◎おもてなしについて

次に日本と中国の違いをもっと感じたのは「おもてなしの仕方」です。簡単に言いますと日本のおもてなしは、料理を一品ずつ出す、温かいうちに美味しいうちにお客さんに食べてもらいます。今の料理を食べ終わりますと次の料理が出て来ます。これは日本のおもてなしです。ここ（喜楽梅むら）は瀬戸北 RC の梅村さんが経営されている日本料理のお店ですので長久手の皆様に一回足を運んでいただけたらと思います。夜間例会で何回か食べさせていただいて最高でした。

次は中国のおもてなしの一例です。この写真は2年前に中国に帰った時のものです。中国ではテーブルを料理で一杯にするのがおもてなしです。だから料理を一気にテーブルに運んできます。まず目で楽しんでから食べます。中国では食事セットや定食という概念はあまりなくてみな取り皿で分けて食べます。写真で見ていただいたように日本と中国の食事の楽しみ方が違います。日本では食事の美味しさを重視しますが、中国では食事の美味しさの他に「分け合う」という人間関係も重視します。身内だから同じ皿のものをもって食べます。

#### ◎本屋について

次は4番目、本屋での日中の違いです。中国は検閲制度、規制が厳しい国です。日本ではそういうことは無いですね。中国で規制されているものは日本では普通が多いです。日本に初めて来て本屋さんに行った時に本棚に並んでいる漫画にびっくりしました。それはこのような漫画です。同性愛を描く漫画ですね。これが堂々と棚に置いてあることを見てびっくりしました。中国では普通の本屋さんには置いてはいけません。このような漫画はどこで買えるかという質問を中国のネットで調べてみたら日本漫画の転売屋という答えしか出ないです。ですから中国人は日本の家電製品や化粧品だけでなくこのような漫画までも買っていますよ。日本はマイノリティへの尊重をはじめ、外国人の生活のサポートやハラスメント問題などに気遣い、多様性と個性を尊重し素晴らしい国だと思います。

#### ◎最後に

最後になりますが日中の違いを4件、紹介させて頂きました。日本と中国は違いがありますが、類似点もたくさんあります。日本の皆さんと中国の皆さんはこれからも交流を深め、お互いに仲良くしていくことを願っております。その中で自分のできる事があれば微力ながらお役に立てたいと思います。今日は私にとって最後の例会ですが、淋しい気持ちで一杯です。瀬戸北 RC の皆様にはこの2年間、大変お世話になりました。まことにありがとうございました。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。また別の機会でお会いできたら嬉しいです。ご清聴ありがとうございました。

### 2019-20 年度青少年交換帰国生 山田 空 君

こんにちは。僕の名前は山田空です。僕は2019年から2020年までノルウェーに一年間留学させていただきました。今回はその1年間の留学のことについてまとめたいと思います。

スポンサーロータリークラブは愛知長久手ロータリークラブ様でホストロータリークラブはグリムスタロータリークラブ様です。

まず初めに僕が住んでいたところはノルウェー南部にあるFevikという人口5000人ほどの村でした。この村は海や森があり、夏になると気温も30度近くまで上昇しとても暖かい場所なのでノルウェー全土から色々な人が夏にバカンスにくる人が多かったです。実際にホストファミリーの家から歩いて5分ほどの距離にビーチが2つあり、夏はほぼ毎日のように泳ぎに行ったりもしました。

次にホストファミリーについてです。僕は今回二つの家族にホームステイしました。一つ目のホストファミリーは僕と同じ時期にノルウェーから日本に留学していた留学生のマリのご家族のところで、二つ目のホストファミリーはご近所に住むマリお母さんのお友達の方の家でお世話になりました。

一つ目のホストファミリー(マリのご家族)はマリを含めて子供が4人いて、一番上の子は大学生で一人暮らしをしていて、一緒に過ごすことができたのはマリの妹と弟でした。

僕は本当によくホストシスターとブラザーに色々とお手伝いいただきたり、一緒に遊んだりしました。ホストシスターは少しシャイで学校の後とかに「ただいまー」と言っても手を上げて、ジュスチャーを取って自室に戻っていくようなことがよくあり仲良くなるのに少し時間がかかりました。ホストブラザーは毎日のように庭に出て遊んだり、ゲームをしようとして誘ってきてくれてすぐに仲良くなることができ、ノルウェーを出発する前日には記念に一緒に変顔をして写真を撮ろうというくらいまで絆を深めることができました。

またこの家は家族全員アウトドアアクティビティが好きで休みの日にはよく外に遊びに行ったり、山へハンティングやハイキングに行ったり、ボートで海に出たりと毎週のようにいろいろな経験をさせてもらいながらノルウェーの自然についてたくさんのお話を教わりました。どれもとても楽しくて毎日のようにやりたいほどでしたが、僕はハンティングが一番気に入りました。一回も獲物を仕留めることはできなかったのですが。(笑)二つ目のホストファミリーは一つ目のファミリーの家から歩いて1分ほどの距離のところだったのでホストチェンジしたという実感はあまりなかったのですが、学校のバスが家の目の前に止まるので朝ギリギリまで寝ることが出来たのが良かったです。こちらお家はホストマザーとホストファザーと僕より一つ年上のホストシスターが居ました。

ホストシスターは自宅から離れたところにある学校に通っているため、一人暮らしをしていてなかなか会えま

せんでしたが、たまに帰ってきた時に一緒にトレーニングをしたり、映画を見たりして交流を深めました。ホストマザーは基本的には在宅勤務していて、たまに地方の本社の方に行くのですが、その時に時間を見つけて下さって首都オスロの観光を一緒にしてくださいました。僕が普段住んでいる町とは全然と違って新しい発見になりました。

ホストファザーはとても賢くてノルウェーの社会的なことを色々と僕に教えていただきました。その国の産業について知ることや留学するところの文化を知ることによって大きくつながることがわかりました。また、ホストファザーは趣味で射撃をやっていて僕も何回か一緒に連れて行っていただきましたが、こちらではまず体験することができないのでとても楽しかったです。

次は学校についてです。僕は町の中心にある学校に通わせてもらいました。

一番驚いたのは教育のやり方が日本と大きくことなっていてとても自由な環境で勉強することができました。また全員英語を話せるので英語での会話は大丈夫でしたが、早くノルウェー語を覚えて英語を使わずにしないでという焦りがありました。また話をするときの話題も日本の友達と話すこととは違って友達と会話するときにはたまについていけないことも多々あり、少し辛く感じました。

次に言語についてです。今回の留学の中で一番大変でした。

文法は英語と似ていたのである程度理解することが出来ましたが、発音とヒアリングに関してはかなり時間がかかりました

留学に行く前に町一つ一つに方言があってどれも発音が違っている、というのを聞いたのですが、そんなはずは無いと思っていたのですが、実際に行くと本当に違って、隣の人と会話する時に何を話しているのかまったくわからない時もありました。余談ですが、ノルウェー人ですら方言が強いと何を言っているのか分からないことがあるみたいです。また、僕の名前がノルウェー語の発音で牛という意味になるので自己紹介の時に毎回くどいくらい指摘されました。

次にロータリーの留学生についてです。今回の留学では、留学生はそこまで多くは無かったのですが、色々な国の人と関わることが出来ました。

留学生全員話す言葉や文化が全く違い、価値観が異なっていましたが、ある程度海外の文化を理解していたつもりでしたが実際は全然理解していなかったり全く知らなかったりということがよくありました。中には僕が驚いたこともたくさんありましたが、同時に相手のことも知ることが出来たので今はよかったと思っています。

次にノルウェーと日本の違いについてです。日本とノルウェーの文化的な違いはとても大きかったです。

一番驚いたのは上下関係がほとんどなく、先生や生徒、ロータリーの人たちに対して「さん」や「先生」などをいうことは一切なく全ての人が名前と呼んでいました。また敬語のようなものもなく全ての人が年という違いに関係なく接していました。

日本では目上の方を敬い、敬語で接するのが当たり前でしたが、あちらではそのようなことはなくてカルチャーショックを受けました。

また祝日についても大きく違っており、憲法記念日の日には国民全員が祝い、船に国旗を掲げて船でパレードが行われていました。例年では市街地を通してパレードを行うのですが、昨年は新型コロナウイルスの影響により残念ながら街中では行うことができませんでした。

今回は御近所の方のご厚意で僕もこのパレードに参加してきましたが、船から見かける人全員がお互いに「おめでとう！」といいあっていて日本ではなかなか見られなく、国民の違いを肌で感じ、とても新鮮に感じました。

ちなみにですが、ボートでのパレードに参加している時にノルウェーの国営テレビの中継に僕が映っていました。休憩して腰を下ろしている時だったので、どうせならもう少しかっこいい時に写して欲しかったです。

最後にまとめになりますが、この一年は僕が今まで生きてきた中で最も濃く充実した一年になりました。

正直、楽しいことよりも辛かったときの方が多かったです。他地区の留学生の子のノルウェー語のレベルがかなり高くて、同じ時間勉強してもなかなか覚えなかったり、上手く馴染めなかったりと色々自分の中で悩みました。ですが、今振り返るとこの悩んだり辛かったこともとてもいい経験になったと思っています。そしてこの悩んで、考えたりして得たことは今後の僕の人生において大切な宝になると思っています。

また僕はノルウェーの食文化にも興味があり、ホストの方々にそのようなことを伝えたら、色々教えてくれました。幸いなことにホストの方々は全員別の地方の出身で色々なノルウェーの料理を知ることができました。またノルウェーだけではなくヨーロッパの料理なども色々教えていただいたり、反対に僕が日本の料理もいくつか作ったりしました。そんなことをしていたら留学前より10キロほど太ってしまいました。留学生活の怖いところはとても太りやすいことかなと思いました。

最後になりますが、僕の留学に行きたいという願いを叶えてくださった長久手ロータリークラブの皆様、本当にありがとうございました。この経験は何物にも変えることができないものとなりました。これからもこの経験を大切に、そしてより大きなことを得られるように成長していきたいと思っていますので、温かい目で見守っていただけると幸いです。

本当にありがとうございました。

(拙い文章ですが、読んでいただきありがとうございました。)



3月23日(火)	3月30日(日)	4月6日(火)	4月13日(火)
PETS 報告 (トヨタ博物館)	同週祝日振替休会	夜間花見例会 (華野)	クラブフォーラム (トヨタ博物館)